

令和3年11月8日

国立大学図書館協会
会員館長 各位

大阪教育大学
附属図書館長
森田 英嗣（公印省略）

令和3年度国立大学図書館協会地区助成事業

オンライン研修会 大学図書館職員のための「デジタル教科書による授業運営の現状と課題」の開催について（通知）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび大阪教育大学附属図書館では本年度地区協会総会の決定に基づき、標記の研修会を別紙のとおり開催いたします。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、貴館職員への周知並びに参加についてご配慮いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお本研修会は、国立大学図書館協会地区協会助成事業の助成を得て実施いたします。

敬具

<連絡先>

学術部学術情報課総務企画係

TEL：072-978-3773

Email：tosyosom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

国立大学図書館協会地区助成事業 近畿地区協会 2021 年度事業
大学図書館職員のための
「デジタル教科書による授業運営の現状と課題」オンライン研修会
実施概要

文部科学省主導のもと、小中高の学校現場では、児童生徒向けの「1人1台端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」を一体的に整備し、多様な子どもたちすべてに、公正に個別最適化された創造性を育む教育を持続的に実現させる『GIGA スクール構想』が推進されています。また 2024 年度の次期小学校教科書改訂にあわせ、デジタル教科書を本格的に導入する契機とすることが求められています。

この状況にあわせ、教員養成系の学部・課程等を持つ大学には、デジタル教科書等の ICT を活用しながら、学習指導要領に示されている教科内容の理解を深める授業科目を実施し、ICT 活用に習熟した学生を育成することが求められています。

大学図書館についても、これら技術の導入や活用への支援が期待されています。本研修では図書館として、この課題にどのように関われるのかといった検討を進めるため、まずは学校現場に求められる ICT を活用した授業運営のあり方について、現状を認識し、課題を知る機会を設けます。

1. テーマ 大学図書館職員のための「デジタル教科書による授業運営の現状と課題」
2. 日時 令和3(2021)年12月7日(火)13:30~15:20(110分)
3. 対象 国立大学図書館協会近畿地区協会加盟館が所属する機関の教職員
及び大阪教育大学教職員 等

4. 内容

①開会挨拶 (10分)

②講演：デジタル教科書学修での教員養成系大学の現状・課題と将来の展望 (25分)

デジタル教科書は、従来の知識注入型の授業から思考力・判断力・表現力等重視への授業革命を起こす底力を持っている。しかし、その能力を十分に発揮するためには授業者の資質が問われる。教員養成系大学には、令和の日本型学校教育の構想実現に向け、デジタル教科書を使いこなせる質の高い教員を育成することが求められる。この現状・課題を踏まえ、附属図書館でのデジタル教科書活用について将来の展望を考える。

③大学講義内実践の報告：図書館連携でのデジタル教科書学修の取り組み (35分)

(1) 授業「ICT基礎c」等での研究発表

上出研究室の学生講師が、ツールバー、数と計算や図形分野のシミュレーションやアニメーション動画などのデジタル教科書ならではの機能の操作説明を行った事例

(2) 電子黒板実習

上出研究室の学生が、デジタル教科書を効果的に演示するための最新型電子黒板の機能説明および実習を行い、操作体験の実習支援を行った事例

(3) 大学院講義でのアクティブラーニング形式のデジタル教科書学修（留学生）

大学院教育研究科の国際協働教育コースの院生が、日本の算数・数学のデジタル教科書の内容を調査・研究し、「三平方の定理」や「プログラミング教育」について日本と中国での国際比較を行った事例

④講演：教科書出版社の大学との連携について（15分）

本学との包括連携協定・ネーミングライツ契約等を通じて期待されている成果等について、東京書籍株式会社による報告

⑤事例報告：大学図書館としてのデジタル教科書への関与（15分）

附属図書館として、2020 から 2021 年度にかけて取り組んだデジタル教科書の導入や利用にかかる支援内容の報告

⑥質疑応答（10分）

5. 実施方法 Zoom を利用したオンライン開催（最大参加人数 300 名までに制限）

6. 記録 講演内容は後日、録画動画を一般公開します（予定）

7. 講師

- ・ 講演：大阪教育大学理数情報教育系/数学教育部門特任教授 上出吉則（うえで よしのり）
- ・ 報告：大阪教育大学 数学教育部門 上出研究室 学生
- ・ 講演：東京書籍株式会社関西支社第一営業部長 松本厚志（まつもと あつし）
- ・ 事例報告：大阪教育大学学術部学術情報課長 井上敏宏（いのうえ としひろ）

8. 予約 URL：事前登録が必要です。（先着 300 名まで人数に達した場合は締め切ります）

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZUtfu2grjwqHNEjyOjDtcKk-G919P-zDF96>

（フォーム登録後に当日参加するための URL が表示されます。また ZOOM サイトからメールでも届きます。）

9. 主催 大阪教育大学附属図書館 / 共催 東京書籍株式会社

10. 問合せ先

大阪教育大学附属図書館 学術情報課総務企画係

TEL072-978-3773 E-mail : tosyosom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

*開催後アンケートにご協力ください。

回答フォーム <https://forms.office.com/r/tExUWUjQh2>

国立大学図書館協会地区助成事業 近畿地区協会2021年度事業

開催日時

令和3年12月7日(火)

13:30~15:20

大学図書館職員のための「デジタル教科書による 授業運営の現状と課題」オンライン研修会

小中高の学校現場では、児童生徒向けの「1人1台端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」を一体的に整備し、多様な子どもたちすべてに、公正に個別最適化された創造性を育む教育を持続的に実現させる『GIGAスクール構想』が推進され、デジタル教科書の本格導入が求められています。

この状況にあわせ、教員養成系大学には、デジタル教科書等のICTを活用しながら、学習指導要領に示されている教科内容の理解を深める授業科目を実施し、ICT活用に習熟した学生を育成することが求められています。

大学図書館についても、これら技術の導入や活用への支援が期待されています。本研修では図書館として、この課題にどのように関わられるのかといった検討を進めるため、まずは学校現場に求められるICTを活用した授業運営のあり方について、現状を認識し、課題を知る機会を設けます。

【発表内容】

1. 講演：デジタル教科書学修での教員養成系大学の現状・課題と将来の展望：上出 吉則（大阪教育大学 特任教授）
2. 実践報告：図書館連携でのデジタル教科書学修の取り組み：学生（大阪教育大学 上出研究室）
3. 講演：教科書出版社の大学との連携について：松本 厚志（東京書籍株式会社関西支社第一営業部長）
4. 事例報告：大学図書館としてのデジタル教科書への関与：井上 敏宏（大阪教育大学学術部学術情報課長）

【実施方法】 Zoom Meetings（ウェブ会議システム）右オレンジ色の枠内からアクセスできます

- 事前登録制
- 先着300名まで（人数に達した場合は締め切ります）

クリック

Zoom Meetings

（ウェブ会議）へ

事前登録

登録後、ミーティング参加に関する
情報の確認メールが届きます。

主催：大阪教育大学附属図書館
共催：東京書籍株式会社
問合せ：大阪教育大学附属図書館 学術情報課総務企画係
TEL：072-978-3773 E-mail：tosyosom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

